

きぼうのいえ ニュースレター



2021年初秋号

特定非営利活動法人 きぼうのいえ
〒111-0022 東京都台東区清川2丁目29番12号

電話：03-3875-7523 Fax：03-3875-7525
E-Mail：kibounoie777@mbr.nifty.com
ホームページ：http://www.kibounoie.info



東京も暑い夏を過ごしました

理事長 下条 裕章

みなさまいかがお過ごしでしょうか。世界規模の感染症のこともあり、心も体もふさぎ込んでということがありませんよう、どうぞご自愛くださいますように。そしてみなさまが日々よい時を過ごされますよう祈念いたします。

大きな公園の近くに居住していることもあり、梅雨が明けると蝉の声がにぎやかに響きます。一斉に聞こえはじめるようですが、気をつけてみると、鳴き始める時期ばかりでなく、時間帯も種類それぞれの特徴があるようです。雄の蝉が鳴き、その在り処を雌に知らせているのだそうです。長寿なこの虫は、10年程ともいわれる地中での生活、そして羽化し成虫となって一月ほど地上で過ごして生涯を終えると聞きました。暑さを身に覚えながら、朝聞こえ、昼耳にし、夕に響く音に、激しい情熱や励まされる思いを感じ、煩わしさや圧迫、あるいは侘しさや静けさをも感じさせられます。

極めて個人的な体験に属するのですが、当たり前にも繰り返される蝉の鳴き声、重なり合うその音に、私の歩みが止められてしまうことがあります。そして汗を拭きつつ聴くその響きに包まれて私は、ふと我に返るような感覚を味わうこととなります。その時の私自身の身体の輪郭や心の想いのあり様を、一步離れたところから眺めるような感じと言っておわかりいただけるでしょうか。転じて、日常の中で認知している世界とは別の空間、並行して成り立っている別の次元や世界があるように思い感じさせられる瞬間なのです。

実際に別の世界が存在するのかわかりませんが、しかしながら、一つ一つの蝉の声が重なり合うように、私たち一人ひとりの心の思いや生活はそれぞれに違った音色とリズムをもって重なり合い、人と人とのつながりを生んで社会を形作り、その響きが私たちの生活を彩っているのです。

そして願います。それらすべてが響き合い、より多様な豊かさを生み出してゆく力となりますように。またきぼうのいえがこれからも様々な生き方を支えるところであり続けられますように。どうぞ今後とも、お祈りとお支えをお願いいたします。



N's ギャラリー

◀スケッチブックと色鉛筆を持ってきぼうのいえにやって来た N さん。
 「いろんなものを描きたい!」と宣言。絵の題材は、主にネットから引き出した写真とイメージネーション。「うちの子も描いて〜!」と、職員の赤ちゃんやペットの写真も持ち込まれる。繊細なタッチに性格が現れる。背景には季節の花々、哺乳ビン、自動車、飛行機、シャネルのバッグ…元の写真にはないものが続々と登場。写実と空想が入り混じったカラフルな N さんワールド!



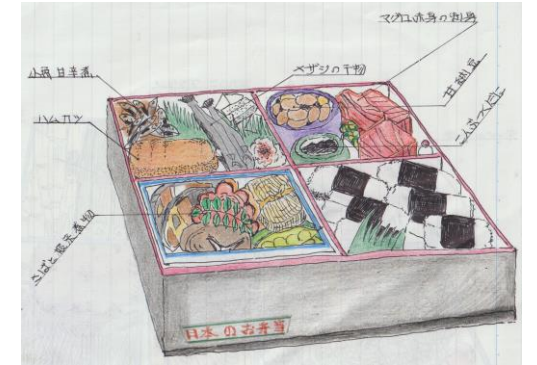
ニューフェイスのご紹介

スタッフとしてきぼうのいえでお世話になることになりました吉倉恵美(よっちゃん)です。
 お話大好き、食べること大好き!!
 おもしろいこと、不思議なこと大好き!!
 おもいたらスグスグ行動!! タイプです。
 今まで、接客業のしごとをしていました。
 スーパーや自転車屋さんにおもちゃ屋さん、色々な方々と出会って話した中で、もっと人にふれたい、関わりたい、寄り添いたいと思ったとき、「あ!! 介護の仕事しよう」とピッと思いつき、右も左もわからないままとびこんできました。
 きぼうのいえでは、毎日毎日が新鮮、嬉しいこと、悲しいこと、変化、変化でドキドキ、ワクワク、楽しく過ごしています。この前も入居者さんと、うどん食べたいよね〜♪ おまんじゅう美味しいよね〜♪ と食べ物の話でもりあがったり、相撲の真似したり、常に大笑いで過ごしています。
 どんな時も常に笑顔。
 後悔しないように常にチャレンジ。
 どうぞ、よろしくお願いします。

新メンバーは個性派ぞろい。お互いの持ち味を生かして、チームワークもばっちり。頼もしい!

はじめまして。福浦陽子です。
 この世に生れ落ちて今日まで「光陰矢の如き」の日々。この10年で、父と母を見送り、上野千鶴子先生言うところの「おひとりさま」となりました。今年、還暦を迎えます。さて、これからの人生を何としよう…と、佇んでいた時「きぼうのいえ」に出会いました。「まるで、何かに導かれるように…」という言葉がしっくり来るような巡り合い。4月からお世話になり、心安らぐ毎日を過ごしています。人間と演劇と二匹の犬をこよなく愛する(愛憎する?) 60歳。
 たましいお世話をしたりされたりしながら、これからの時間を過ごしたいと思っています。
 最後に20歳の頃から好きだった詩の1節を…
 日々の命の営みが、ときにあなたを欺いたとて、悲しみ、憤りを抱かないでほしい。悲しい日々には心を穏やかに保てば、やがて再び喜びの日も訪れようから。心はいつも行く末の中に生きる。今あるものはすずろにさみしい思いを呼び、この世のなべてのものは東の間に流れ去る。そして、流れ去るものは、やがて、なつかしきものへ。

▼食に対する熱意がディテールに込められている『理想のお弁当』



▲一番人気の作品・・・みんな大好きオムライス

初めまして、スタッフの本郷由美子です。
 ご縁あって四年前、毎週木曜日に開催している「お茶会」ボランティアのお仲間に加えて頂きました。利用者さんから「ゆみちゃん」と呼ばれています。今年の2月から非常勤スタッフになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

最初の一ヶ月間は、無我夢中で過ごしていました。ようやく入居者さん一人ひとりが抱えている困りごとに耳を傾け、心に寄り添い、生活や身体のケアを担えるようになりました。たくさんの学びを頂き、自分自身の中から湧き上がってくる問いと向き合いながら勤務をさせて頂いております。

ここ数ヶ月は、『真の「やさしさ」とは何か』という問いと向き合っています。

《「優しい」という字は、「にんべん」に「憂い」と書く。心配事や悲しみを抱えている人の側に寄り添う人の心を「優しい」と言う。人の悲しみや苦しみを深く知ることから「優しさ」が始まる。》と言われますが、「きぼうのいえ」は、毎日のようにその日の利用者さんの現状に寄り添う「優しさ」が生まれ、様々な質感の「優しい」かわりが紡がれている場所だと感じています。出勤するたびに新たな発見や気づきに恵まれ、学びや問いの深まりを実感。学び得たことをきちんと活かしていけるよう努力しています。

「きぼうのいえ」は、私にとって「心の家族」のような存在。大切な心の家族と共に悩み、共に喜び、共に時間を紡いでいきたいと思っています。

こんにちは。スタッフの山内麻美です。
 今年の3月末からきぼうのいえでお世話になってます。介護の仕事は初めてで、入居者さんとのささいな会話からオムツ替えまで、頭に「？」が浮かぶことだらけですが、皆さん優しく教えてくれるので、安心して楽しく働いています。

最近、少しずつ名前を覚えてもらえるようになり、「まみちゃん」と下の名前で呼んでくださる方もいます。名前知らなかった! 覚えてなかった!! という方も、これを機に「まみちゃん」と気軽に声をかけてくださると嬉しいです。

きぼうのいえに来ていない日は絵画教室などで絵を教えたり、自宅で油絵を描いたりしています。最近は絵を描いているときに、きぼうのいえの皆さんのことが思い浮かぶことがあります。〇〇さんがこんなこと言ってたなあ〜とか、こんなことで怒ってたなあ〜とか頭によぎる度、なんとも言葉で表現しづらいのですが、興味深い気持ちになります。皆さんと接するなかで、私も成長・変化していくことがあるなあ、日々感じています。至らない点も多々ありますが、これからもどうぞよろしくお願い致します!



♪同封の缶バッジの絵も山内麻美の作品です。

令和2年度決算報告書

※単位：円

<収入の部>		<支出の部>	
科目	決算額	科目	決算額
一般寄付金	7,391,470	人件費	27,222,593
教会寄付金	493,074	修繕費	9,328,570
受取助成金	10,477,450	厨房費	7,937,092
事業収益	31,315,046	水道光熱費	2,399,432
その他収益	262,634	その他諸経費	8,392,777
総計	49,939,674	総計	55,280,464

2年度の決算は、△5,340,790円でした。これは外壁改修工事に伴うもので、積立修繕費を取り崩して支払いました。また、年度途中から厨房をきぼうのいえのスタッフが賄う方式にしたため、昨年より人件費増、厨房費(委託費)が半減しております。尚、入居者の念願だったBS放送の設備が整い、この度のオリンピック観戦ができました。ラッキー、感謝！次期繰越正味財産額は147,732,585円です。

(その他の報告)

きぼうのいえは、これまで無料低額宿泊所として一時的な居住の場と整理され、その中で、疾病を持つ生活困窮者の受け入れと在宅ホスピスケアを行ってきました。一方国は、生活保護法を改正し、無料低額宿泊所における貧困ビジネス規制と、良質なサービスの基準を満たす無料低額宿泊所には委託費を支払う「日常生活支援住居施設(日住)」を創設しました。きぼうのいえは、この日住の認定を受けた後、令和3年1月1日から施行しております。

(事務局 藤堂千浪)

きぼうのいえでは、私どもの活動にご賛同頂ける皆様方に、ご支援・ご寄付をお願いしています。

振り込み方法は ①郵便振替、②銀行振込み、③インターネット募金 の3つがあります。

きぼうのいえの運営へのご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※ご送金にあたってのお願い：ご支援・ご寄付をくださった方々のお名前の公表の可否をお伝えください。

<p>① 郵便振替の場合 郵便振替番号： 00190-6-388670 名義：きぼうのいえ後援会</p>	<p>② 銀行振込の場合^(※1) みずほ銀行 三ノ輪支店 普通 口座番号：1284037 名義：特定非営利活動法人きぼうのいえ</p>	<p>③ インターネット募金 ホームページからアクセスして、 カード決済することもできます。 http://www.kibounoie.info/index.html</p>
--	--	--

※1 銀行振込の方で領収書が必要な方はメール等で連絡先をお知らせ下さい。

寄附金受領証明書の発行について

きぼうのいえは認定NPO法人です。認定NPO法人に対するご寄付は、寄附金控除（税額控除）の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄附受領証明書は、ご寄附の都度発行させて頂いております。

寄附受領証明書の再発行はできませんので、ご了承ください。